

案件（1）路線バス社会実験路線の利用状況について

1. 社会実験路線について

令和6年3月23日の北大阪急行線延伸開業に伴い、新駅を中心としたバス路線網に再編を行いましたが、再編後の需要が不透明であった下記の5路線については、営業路線として成立するかどうかを見極めるため、社会実験路線として運行しています。

【対象路線】

- ・如意谷線
- ・箕面山麓線
- ・小野原東線(箕面船場阪大前駅経由)
- ・箕面小野原線
- ・箕面中央線(新稻系統)

※各路線の詳細なルートは「参考資料① 路線バス再編ルート図」参照

2. 社会実験路線の評価の流れについて

社会実験路線は4月～6月までの収支率で評価する「1次評価」と4月～12月までの収支率で評価する「2次評価」があり、それぞれ下表のとおり基準を設けていますが、本格運行に移行するためには2次評価で100%以上の収支率を確保する必要があります。

1次評価（4月～6月までの利用状況）

収支率	評価・見直しの方法
80%以上	そのまま社会実験を継続
60%～80%未満	減便した上で社会実験を継続
60%未満	路線の見直しを検討

2次評価（4月～12月までの利用状況）

収支率	評価・見直しの方法
200%以上	サービスレベルの向上を検討し本格運行へ移行
100%～200%未満	本格運行へ移行
100%未満	減便した上で社会実験を継続または経過措置運行

※1次評価で減便等を行った場合、2次評価は減便後から12月までの運行期間での収支率により評価

※詳細な評価の流れは「参考資料② 社会実験路線の評価基準及び評価の流れ」参照

3. 4月から6月までの利用状況

路線名	基準値	利用状況
如意谷線	8.5 人/便	8.9 人/便
箕面山麓線	23.7 人/便	27.6 人/便
小野原東線 (箕面船場阪大前駅経由)	17.7 人/便	14.7 人/便
箕面小野原線	32.0 人/便	19.1 人/便
箕面中央線 (新稻系統)	25.8 人/便	16.8 人/便

※7月31日開催の箕面市地域公共交通活性化協議会において、運行実績に基づいた基準値への見直しを行っております。